

榎尾聡美 (KASHIO SATOMI)

1984年、愛知県生まれ。

飛行機や電車等といった日常的に身近なモチーフを幾何学的な模様で装飾することで、本来持っている素材の特性を曖昧にし、有機性を帯びた生命力溢れる繊細な作品を制作する。



展示場所
ゆばらの宿 米屋



展示場所
湯原国際観光ホテル 菊之湯



展示場所
裏路地9番地 picnic or market?

Q-enta (石塚 堅太)

形の面白さやシンプルさを追求しています。自由にのびのびをモットーに表現しています。想像の余地を残すそんな絵が描けたらと思います。

(経歴)

Masa Mode Academy of Art 卒業

Gallery Vie 絵話塾 特別コース 卒業

2022年6月 「生態系」 igu_m_art にて個展開催 (大阪)

2022年8月 「tinker around」 coote gallery にて個展開催 (大阪)

2022年11月 「クエンタのくえっちゃん？」 Gallery hana 輪にて個展開催 (大阪)

2023年10月 「描いたり、遊んだり、いろいろと」 gallery そら にて個展開催 (大阪)

2024年2月 「描いてこそ」 ギャラリーPaw にて個展開催 (兵庫)



展示場所

温泉ミュージアム

前田 莉緒

岡山県立大学造形デザイン学科を卒業後、2019年に株式会社玉島活版所に入社。
パンフレット・カタログ等のグラフィックデザインをベースに、最近はパッケージデザインにも
ウイングを広げ、より訴求力の高い商品づくりに取り組んでいる。



展示場所
つるや



岡山県真庭市の市外局番をデザインコンセプトに掲げ、
地方創生を迫及したプロダクトを展開するオリジナルブランド
「0867」



展示場所
PUBLICHOUSE LAUGHTALE

加納容子

岡山県勝山生まれ。女子美術短期大学デザイン科、生活美術科卒業後、29歳で勝山にUターン。1996年に勝山町並み保存地区にて、のれん制作開始。翌年、生家にて「ひのき草木染織工房」を立ち上げる。

暖簾制作の基本は「かける人の思いを代弁し、表現すること」。そのため、制作前に必ず、色、デザイン、どんな風にしたいかなど希望をじっくりヒアリングする時間を設けます。「おまかせしますという方もいますが、できるだけお話を聞いて、その方の気持ちが表れたのれんにしたいんです」八景さんの暖簾は25年以上のお付き合いなので、互いに気心もわかりますから…自然にお受けしました。この度は八景のうさぎと湯原温泉のはんざきをデザインに入れて、何度かデザインのやり取りをしながら…湯原の自然を感じていただけるような色あいに決め、訪れる皆さまを温かくお迎えしたい気持ちを現しました。



展示場所
八景

制作者：坂手修三

1968年 岡山県出身 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒 日本サインデザイン協会会員

モーターサイクルデザイナーを経て岡山に帰郷。地域のニーズに合わせてプロダクトからグラフィックデザイン、地域ブランディングまで様々な分野に携わる。

湯原温泉とは、約30年前に「はんざき祭り」の太郎山車の立体造形をさせて頂いて以来のご縁で、シンボルマークなど様々なデザインに参加させて頂きました。街中に溢れる湯原温泉の「はんざき愛」の数々に触れ、楽しくまた嬉しく感じています。

製作者：佐藤伸矢

1969年 広島県出身 九州芸術工科大学卒 日本サインデザイン協会会員

広島を中心に企業やプロダクトのブランディングを行う。2009年に日本サインデザイン協会の地区活動として仲間と共に湯原温泉のサインデザインに携わる。

湯原温泉のデザインでは、この地に感じた不思議なエネルギー（生命感）をテーマにデザインに取り組んでいます。



展示場所
我無らん